

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 事業名 | 建設業への若者就業促進と職人技術の伝承 |
| 事業主体 (連絡先) | 長野商工会議所 (建設関連部会 TEL227-2428) |
| 事業区分 | (6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト事業 |
| 総事業費 | 750,492 円 (うち支援金 : 528,000 円) |

事業内容

①若者就業者向けのパンフレットの作成

建設業種の役割・魅力を伝える若者就業者向けパンフレット「建設業界お仕事ガイドブック」に土木の職人4名のインタビューを追加、改訂した。

②「建設職人塾」職人体験マップの作成と職人体験の実施

職人体験をより参加しやすく魅力ある内容でPRしようと、受入事業所の紹介と長野市広域イラストマップ、QRコード付きの「建設職人塾」職人体験マップを作成した。また、このパンフレットを配布し、職人体験を募集、3日間の職人体験に5事業所、10名の高校生が参加した。

③職人講座の実施

長野工業高校土木科1・2年生、須坂園芸高校2年生長野俊英高校1年生の就職志望の学生を集めて、職人講座を実施した。



【作成したパンフレット】



【職人講座風景】



【職人体験風景】



【目標・ねらい】

- ①若者に建設業の魅力を伝える
- ②就業支援につなげる
- ③職人技術の伝承を図る

事業効果

・改訂した若者就業者向けパンフレットは、土木を目指す学生に向けても就業を促すことが可能となり、建設業全般の職人紹介につながった。

・職人体験マップは、どんな体験ができるか事業所からのメッセージや興味を引くイラストマップを取り入れ、ガイドブックとあわせた職人紹介につながった。また、学校側との連携も図ることができた。

・職人体験に参加した学生からは、「素晴らしい時間になった」「職人さんとの作業はとても楽しかった」「将来に生かしていきたい」等の感想が寄せられ好評であった。

※自己評価 【 B 】

【理由】

地域における職人の貢献度をPRする良い機会となった。昨年度に引き続き、事業を継続することで、より深い活動につながった。

今後の取り組み

今回の支援金事業を土台として、今後も職人講座、職人体験を継続的に実施し、就業支援と技術の伝承につなげたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある